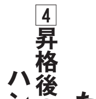
学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区
目白１丁目５番１号
電話 03（3986）0221内線2607
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press/
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　山崎晃志
年間500円



3　紫外線と向き合う

紫外線を夏にだけ意識する人が多いが、実際には一年中降り注いでいるものだ。紫外線対策の意外な落とし穴に迫ってみた。

紙面紹介

2　問われ続けるたばこの是非

4　昇格後の初戦制すハンドボール部

コウジーコーナー

山手線沿いを歩いて一周するという一大イベントを敢行した。大学からスタートし、池袋方面へ。しかし、自分は目白〜五反田で敢え無くリタイア。すた丼を食べ、すごすごと帰路についた。もちろん電車で。（麹）

志願者増加へ新たな一歩

平成19年度　入学試験

好転する入試改革

平成１９年度の入試結果が発表された。今年度の総志願者数は１３６９１名。志願者が大幅に減少した昨年度に比べ、１５６４名の増加である。ドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科への名称変更、法学部の入試日変更、広報活動の充実などにより、近年深刻であった志願者減少に歯止めをかけた。

平成19年度　学習院大学入試結果

平成19年4月2日現在

学部	学科	定員	志願者		合格者		倍率		入学者	
法	法学科	250	2,554	(+883)	313	(+48)	8.2	(+1.9)	229	(−35)
	政治学科	230	1,581	(+262)	281	(+27)	5.6	(+0.4)	200	(−33)
	計	480	4,135	(+1,145)	594	(+75)	7.0	(+1.2)	429	(−68)
経済	経済学科	250	2,186	(−238)	504	(+55)	4.3	(−1.1)	321	(+68)
	経営学科	250	1,605	(+25)	288	(+29)	5.6	(−0.5)	299	(+18)
	計	500	3,791	(−213)	792	(+84)	4.8	(−0.9)	620	(+86)
文	哲学科	87	478	(−63)	160	(+8)	3.0	(−0.6)	104	(+8)
	史学科	85	747	(+7)	181	(+2)	4.1	(−)	87	(−14)
	日本語日本文学科	110	782	(−15)	232	(+8)	3.4	(−0.2)	143	(+32)
	英米文学科	115	879	(+40)	224	(+24)	3.9	(−0.3)	151	(+21)
	ドイツ語圏文化学科	50	333	(+105)	95	(+4)	3.5	(+1.0)	60	(−3)
	フランス語圏文化学科	80	505	(+145)	122	(−26)	4.1	(+1.7)	96	(−)
	心理学科	75	626	(−32)	156	(+11)	4.0	(−0.5)	92	(+11)
	計	602	4,350	(+187)	1,170	(+31)	3.7	(−)	733	(+55)
理	物理学科	45	375	(+85)	121	(−19)	3.1	(+1.0)	56	(+11)
	化学科	45	552	(+186)	124	(+6)	4.5	(+1.3)	50	(−9)
	数学科	60	488	(+174)	155	(+37)	3.1	(+0.5)	68	(+7)
	計	150	1,415	(+445)	400	(+24)	3.5	(+1.0)	174	(+9)
合計		1,732	13,691	(+1,564)	2,956	(+214)	4.6	(+0.2)	1,956	(+82)

（　）内は昨年度との比較。
入学者数には、「学習院高等科・学習院女子高等科からの進学」「指定校制推薦入学」「公募制推薦入学」「外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入試」「社会人入試」「外国人学生特別入試」による入学者を含んでいます。
志願者数は第１志望学科で集計しています。

まず今年度の学科別志願者数は、全14学科中10学科で増加。中でも以下の５学科にその傾向が顕著であった。法学科では、他大学と入試日が重なり伸び悩んだ昨年度に比べ、８８３名増の大躍進。これは、昨年度の結果を踏まえ、従前の２月15日から２月10日へと入試日を変更したことが関係しているようだ。化学科と数学科でも、昨年度に比べ１８６名、１７４名と志願者を増やした。だがこの増加は、昨年度大幅に志願者が激減したことに対する反動であるという見方が強い。ドイツ語圏文化学科とフランス語圏文化学科は、今年度より名称変更したことに伴い、カリキュラムも刷新。それぞれの志願者は昨年度に比べ、１０５名、１４５名増加した。

次に地域別の志願者数を見ていくと、ほぼ例年並みの結果であった。今年度も首都圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に志願者が集中し、全志願者の76・６%を記録。さらに総志願者増の１５６４名の内訳も、首都圏出身者が１２７０名を占めた。

このように複数の要素が全体の総志願者増に結びついたが、これには広報活動の効果もあったようだ。本学はオープンキャンパスの来場者が入試を受ける確率が極めて高い。そのため広報活動では、例年以上にオープンキャンパス開催告知に力を入れてきた。具体的には、入試情報誌や首都圏約１５０駅構内のポスターにて開催日等を宣伝。受験生に身近な大学であると印象づけた。

その結果、同ランクの私立大学における一般入試志願者増の平均値１１３・４%をほぼ達成できた。さらに本学は、GMARCHと称されるため高い志願者指数を目指し、現在様々な取り組みを検討している。その一環として、来年度は一般入試期間を見直す。より多く志願者を獲得するため、予想される併願大学の入試日と重複しないように設定する。現在のところ、２月７日経済学部、８日文学部、９日理学部、10日法学部の順に試験を実施する予定だ。さらに政治学科では「自己推薦特別入試」の実施を開始。また英米文学科を「英語英米文化学科」へ名称変更し、コース制を導入する。それに続き平成21年以降、理学部に「生命科学科」の新設、「自然科学研究棟」「中央教育研究棟」の建設計画により、本学の魅力を磨いていく。

本学は近年の志願者減少を抑えるべく、永田良昭学長を中心に入試改革を進めてきた。今年度はその成果が数字に表れたが、今後も予断は許されない。充実した広報活動を展開させ、志願者の増加傾向を維持することが求められている。

大幅採用際立つ

平成18年度就職状況

就職部より、平成18年度の就職状況が発表された。今年の就職率は全体で95・９%、男子が95・３%、女子が96・４%。この就職状況は４月24日現在のもので最終結果ではないが、この時点で既に昨年度を上回る数値となった。

今年の傾向としては、例年以上に大手企業からの採用がみられた。中でも、金融分野における内定者数が群を抜いている。三菱東京UFJ銀行の68人（前年度21人）や、みずほフィナンシャルグループの50人（前年度45人）と、「銀行・信託」への内定者数は２３２人にも及ぶ。また、その内訳を見ると、従来を上回る女性の大幅な採用が目を引く。企業側の、性別を問わない採用の姿勢が結果に表れている。

森川正和就職部長は18年度の結果について「金融関係企業への就職率34%をはじめとし、大手企業への就職が活発に行われています。景気の回復・団塊世代の退職などいくつかの要素が重なり、今回の結果につながったようです」と評価している。しかしその一方で、いわゆる「就職浪人」となった卒業生がいることも事実として重く受け止めた。「企業の選考基準は、学生時代をいかに有意義に過ごしたか。いわゆる人物重視です」。好況と言えど、決して企業の学生を見る目が甘くなったわけではない。採用の枠が広がっても、人材の「質」は常に問われるのだ。

また、今後の見通しについて森川部長は、数年間は同様の傾向が続くものとみている。だが、早期離職者が近年増加していることに対しては、看過できない問題として対策を講じる構えである。「早期離職の防止のためにも、学生生活を積極的に行動し、人として成長を重ね、組織に順応できる力をつけてください。それこそが企業の欲する人材と言えるでしょう」と、就職活動へ向かう学生たちへのメッセージをいただいた。学生には、採用枠の拡大に気を緩めることなく、就職活動に対する芯の通った意識が要求される。なお、内定者数の上位企業は表の通り。

就職先一覧
（内定者数が２桁の企業）

	就職先企業名	男	女	合計
1	（株）三菱東京UFJ銀行	10	58	68
2	（株）みずほフィナンシャルグループ	15	35	50
3	東京海上日動火災保険（株）	2	22	24
4	三井住友海上火災保険（株）	4	19	23
5	（株）損害保険ジャパン	5	17	22
6	日本生命保険（相）	6	15	21
7	（株）三井住友銀行	4	12	16
8	（株）千葉銀行	7	5	12
8	（株）日興コーディアルグループ	9	3	12
10	大日本印刷（株）	5	5	10
10	（株）横浜銀行	6	4	10
10	日本興亜損害保険（株）	4	6	10
10	（株）ジェーシービー	4	6	10
10	警視庁	6	4	10

「准教授」に改称

学校教育法改正

文部科学省の学校教育法の一部改正により、平成19年度４月１日から高等教育機関の教員の職階が改められた。高等教育機関とは大学、大学院、短期大学、高等専門学校の総称である。これにより、従来の「助教授」「助手」が廃され、新たに「准教授」「助教」「助手」の三種の職階が設置された。

この改正は、欧米の大学の方式に倣ったものである。学校教育法によると、助教授は「教授の職務を助ける」ものであった。それに対し、准教授は「学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する」ものとなっている。

このように法の定める助教授と准教授の職務には大きな違いがあるが、実際は「助教授」を「准教授」に改称するだけの大学が多い。そうした中、本学は従来から助教授を独立した研究者として扱ってきた。

また「助教」「助手」については、従来の「助手」を分類するための改正だ。将来研究者になる者を「助教」、学部学科の職務を補佐する者を「助手」と新たに定義している。

今回の改正について荒川一郎学生部長は「名称などは全て、文部科学省からの方針に従ったかたちです。准教授の表記を間違えるなどの細かいミスはありましたが、特にトラブルのようなものは起きていません。ただ、新たな呼称が世間一般に浸透するまでには、何年か要することでしょう」とコメントしている。現時点では改正による目立った影響は出ていないが、今後の研究者の育成などに良い効果が期待されるところだ。

オール学習院の集い

４月15日、桜並木が新緑に染まり始めたこの日、本学にてオール学習院の集いが開催された。本年は恒例のアイメイト協会による盲導犬体験、書道の作品展示会などの様々な催し物で賑わっていた。また、正堂にて行われた合同演奏会は敬宮愛子さまがお歌いになられたことから、例年以上の大盛況。肌寒い日であったが、多くの人々がこの春の集いを満喫していた。（池）

明窓浄机

大学に入る前から、心に決めていたことがあった。できるだけ学部やサークルに所属せず、学業や趣味に専念しよう、と。部活動に手を出したら、あれもこれもと欲張って、結局全て尻切れトンボで終えてしまう。それは、中学時代にいくつも兼部をして痛いほど感じた、私の悪い癖だ▼ところが、私は大学に入学してからすぐに兼部をし、さらにアルバイトまで始めてしまった。１ヶ月も経たないうちに、慌ただしい生活に身を委ねることとなった。高校生の頃までとは何もかもが違う日々である▼そんな日々も今や、３年目に入った。いずれも「ものを作る」仕事のため、やり遂げた後の達成感は形に残る。しかしその分、修羅場の重なり合う苦しい場面も、一度や二度ではなかった▼その気になれば、どの仕事もすぐ辞めてしまえたはずだ。だが、私はそうした選択を迫られたとき、必ず「今辞めちゃったらもったいない」と思うのだった。大学生活の４年間は、あっという間に過ぎていくのだろう。それなら、可能な限り盛り沢山の４年間にしてしまおう▼大学生活の折り返し地点は過ぎたが、まだやり残したことは山ほどある。密度の濃かった時間は、後から振り返っても印象深い思い出になるだろう。卒業まで時間の許す限り、良い記憶と結果を残してゆきたい。（篝）

学習院 研究最前線

学問研究の「いま」

今回は、経営学科の川本淳教授です。グループ企業を繋ぐ連結会計を専門となさっている先生。会計学における研究の意義と、現在の会計の分野についてお話を伺いました。

（取材・構成　下里豪平）

◇　◇　◇

二つの研究方法

会計学にも、他の学問と同様、理論研究と実証研究という二つのアプローチがあるという。理論研究は、物事の有り様を机上の理屈から想像していくもの。実証研究は、主として統計的手法を用い、現実がどうなっているのかを観察しようとする方法だ。

「二つの研究方法には、良い面、悪い面が共にあります。会計学でも、両者が相互補完しながらバランスよく研究が進むのが望ましいのですが、現在は実証研究が先走りしているのではないかとみています」

この現況における会計学に、先生は警告を発している。研究が一方に傾くことによって、一体どのような弊害が生じるのだろうか。

「実証研究では、用いる手法によって、事実はこうであるという結論が変わってくることが珍しくありません。極端な話、望ましい結論を出すために、都合のよい手法を研究者がわざと選択することもあるのです。また、いくら事実が正しく観察できたとしても、それがどういう理屈で起きたのかがきちんと説明できないのでは、怪奇現象の発見にすぎません。ちゃんとした手法や理屈を欠いたまま、とにかく事実はそうなのだ、という結論が独り歩きするのが一番怖いことなのです」

「地に足がついた会計学を」

経済学部経営学科　川本淳教授

理論と実証の協調へ

そんな会計学の世界について、先生は実証研究が理論研究を置き去りにして暴走することのないよう、ブレーキをかけていきたいと述べた。

新しい教科書の作成へ

先生は現在、新しい教科書の作成を進めている。そのコンセプトは「会計の勉強をしている人にも、していない人にも解りやすい優しい教科書」だ。

「現在出回っている教科書には、初めて会計に触れる人にとって親切なように、従来にはない工夫がみられます。しかし、きちんと勉強をしている人には不適切ではないかと感じる箇所もあります。会計学にも、当然、説明するのが難しい理屈もあります。だからといって、そこをいい加減な説明に置き換え、初心者を解ったつもりにさせることは許したくないのです」

教科書そのものの捉え方を、先生は「考え方を学ぶもの」と解釈している。小手先だけの知識ではなく、何にでも通用する考え方を残すこと。学生たちにもその意味を掴めるよう、先生は様々な思考を重ねている。

「自分は会計にどう向き合ったらよいのか、を学べる教科書を作ろうと考えています。知識だけを詰め込んだ教科書では学んでも何も残りません。知識は忘れるものですから。しかし、会計に対する構え方を学ぶことで、どういう場面で会計が役に立ち、役に立たないのか、という会計の本質が心に刻み込まれると考えています。それは卒業してからも、仕事などに生かされるものと信じています」

また、先生は会計学の価値をむやみに煽る現在社会の風潮にも危機感を募らせている。会計は必要不可欠、とさしたる根拠もなく宣伝する世論の無責任さに憤りを感じているのだ。そして、世論に流されずどう大学生活を過ごせば良いかを説いていただいた。

「起こったことをどう記録するかが会計の問題です。しかし、仕事でむしろ大事なのは、これからどうするかなのです。会計記録は、この問題を直接解決してくれません。したがって、仕事にすぐ使えるかどうかで評価するのだとしたら、会計学はよい選択肢とは思えません。しかし、会計学に限らず、大学で専門を学ぶ意義は、それぞれの領域の考え方に触れ、心に刻むことにあります。学生は大いに学んで視野を広げてください。知識については本を見ればすぐに思い出せるので、忘れてしまっても構わないのです」

今後の展望を形作り、会計の本質をしっかりと見据える先生。先生の飽くなき研究への追及は、会計学をあるべき道へ導いていくだろう。

現在出回る教科書と、先生の著書

PROFILE

川本淳（かわもと・じゅん）
１９９３年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。93年に都立大学に勤務、96年に博士（経済学）授与。２００５年より現職。

情報特急便

春の人事

【役職】

学部長▼経済学部長・岩田規久男、文学部長・高埜利彦

大学院研究科委員長▼人文科学研究科・高埜利彦、政治学研究科・平野浩、経済学研究科・脇坂明

専門職大学院研究科▼法務研究科長・野坂泰司、法務研究科主任・長谷部由起子

学科主任▼法学科主任・常岡孝好、英米文学科主任・塩谷清人、心理学科主任・竹綱誠一郎、ドイツ語圏文化学科主任・岡本順治、フランス語圏文化学科主任・MARE，Thierry、物理学科主任・田﨑晴明

事務▼教務部長・宮川努、学生部長・荒川一郎

施設等▼図書館長・塩谷清人、計算機センター所長・坂本孝治郎

【昇格】

教授に昇格▼法学部・中田喜万、福元健太郎、経済学部・金田直之、文学部・眞野泰、川嵜克哲、理学部・小島修一、中野伸、外国語教育研究センター・BROWN，Phillip、堀内ゆかり

准教授に昇格▼法学部・村山健太郎

【新任教員】

教授▼文学部・中山昭彦、理学部・馬渕一誠、松本幸夫、法科大学院・龍岡資晃、長沢美智子

准教授▼経済学部・RTISCHEV，Dimitry、眞嶋史叙、文学部・伊藤忠弘

講師▼法学部・佐瀬裕史

（敬称略）

社告

新聞づくりは文章上達の近道。膨大な情報のなかから不要なものをいかに落とし、必要なものをいかにまとめていくかがポイント。企画を練り、取材を行い、記事を書き、見出しをひねり出すことで、自然と情報を編集する力がついてくる。その力は講義でも演習でも役に立つこと請け合い。興味がある方はぜひ黎明会館316号室へ。

社員、募集。

（実は密かに「急募！」だったり）

学習院大学新聞社
黎明会館316号室　3986-0221（内線2607）
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press

考察！たばこ問題

大学では高校までと異なり、正当に喫煙できる環境が用意されている。つまり、たばこの問題はより身近になっているのだ。今回はそんなたばこについて、いくつかの観点から考えていきたい。

たばこをめぐる社会の動き

現在、世界的に喫煙の規制は厳しくなってきている。では、わが国におけるたばこ規制の現状はどのようなものなのであろうか。

たばこは、日本において税負担率が最も高い製品のひとつである。その割合は1箱あたり60％以上を占め、たばこ自体の値段の割合よりも多い。1箱300円のたばこを買うと、国たばこ税71・04円（23・7％）、地方たばこ税87・44円（29・1％）、たばこ特別税16・40円（5・5％）、消費税14・29円（4・8％）を支払うことになる。

これらのたばこ税は、国税・地方税合わせて年間2兆円以上もの額になる。一見大きな金額だが、他国に比べると、日本のたばこ税率は格段に低いのだ。イギリスやアイルランド、ノルウェーなどのヨーロッパ諸国では、たばこの税率は80％に近い。販売価格も日本の2倍以上である。このように、多くの先進国では禁煙政策が徹底しており、消費抑制のために価格上昇政策をとっているのである。最近では、フランスが2002年から2003年にかけて50％もの値上げを実施し、消費抑制に一定の成果を挙げたとされる。わが国でも、昨年7月1日から1本1円（1箱あたり20円）値上げされた。とはいえ、他の先進国の半額に過ぎない、控えめな価格設定だ。

日本は先進国の中では喫煙率が最も高く、「喫煙大国」と言われている。成人男性の平均喫煙率は減少傾向にあるが、45・5％と他の先進国に比べれば未だ高い状況なのである。

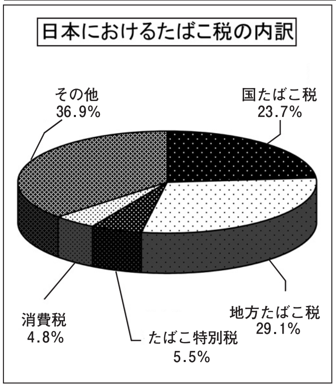
そんな中、昨年「たばこ規制枠組み条約」が世界保健機関（WHO）の主導で採択された。この条約は「たばこ消費を削減、健康被害防止のために受動喫煙からの保護、たばこ広告の禁止・規制、未成年者からの隔離」などを定めている。ほかにも、パッケージの警告表示については、「消費者に誤解を与えるおそれのある形容的表示などを用いることによってたばこ製品の販売を促進しないことを確保し、主要な表示面の30％以上を健康警告表示に充てる」と規定。これにより、たばこの警告表示が大きく変わった。パッケージの表裏に「喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます」など、具体的に病名を挙げ、危険性をより強調した表現となったのだ。

それに加えて、未成年者喫煙防止の気運も高まっている。1996年からの屋外自販機の深夜時間帯における稼働停止に続き、2008年より「成人識別装置付たばこ自販機」が全国で一斉稼働されるそうだ。これは、生年月日を記録した専用のICカードを利用することにより、未成年者はたばこを購入できなくなるというものである。また、カードには電子マネー機能も搭載される。利便性を高めることにより、たばこ離れを食い止める目的もあるのだ。日本たばこ協会によると、鹿児島県の種子島での実験では、喫煙による未成年者の年間補導件数が減少したという。だが、子供が勝手にカードを持ち出す可能性もあり、実効性を上げるにはカード管理が課題になりそうだ。

このように日本においても、たばこ規制は着実に進められてきている。しかし、国際レベルと比較すると、まだまだ喫煙者に寛大な国であるといえるだろう。

（小室真衣子）

日本におけるたばこ税の内訳



喫煙による健康への影響

喫煙が身体に良くないということは世間一般に広く認識されている。だが、実際にどのような害をもたらすのかをはっきりと理解している人は、果たしてどれ程いるだろうか。

たばこの煙には4000種類以上の化学物質が含まれており、そのうち明らかに人体に有害とされる物質だけでも200種類以上になるという。ニコチン、タール、一酸化炭素などは多くの人々が有害物質として聞いたことがあるだろう。

喫煙してすぐに現れる影響として、まず運動能力の低下が挙げられる。たばこを吸うと一酸化炭素の作用で酸素の運搬能力が低下し、持久力が落ちてしまうほか、ニコチンの作用で心拍数を不必要に早めたり、血管を収縮させて血圧を上げたりする。そのため、心臓に余分な負担が絶えずかかり、運動の妨げとなるのだ。さらに見た目の問題としては、タールによって指や歯が黄色くなるだけでなく、ニコチンがビタミンCを破壊したり血流を悪くしたりするため、肌が荒れやすくなってしまう。たばこは女性にとって「お肌の大敵」とも言える存在なのである。

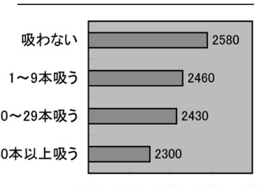
喫煙歴が長いとこれらの症状のほかに、がん、心筋梗塞、胃・十二指腸潰瘍などの病気にかかる危険性を高めることにもなってしまう。中でもがんは発症原因の約30％が喫煙とみられており、喉頭がん、肺がんのような呼吸器系だけでなく、胃がんのような消化器系、膀胱がんのような泌尿器系などと、全身の様々ながんにかかる危険性をはらんでいるのだ。個人差はあるが、一般的に喫煙本数の多い人や喫煙開始年齢が早い人ほどがんにかかる危険性が高まると言われる。

このような悪影響は喫煙者本人だけにとどまらない。たばこの煙には、フィルターを通して喫煙者の肺の中に達する主流煙と、たばこの点火部から立ち上る副流煙があるが、フィルターを通さない分、副流煙の方が有害成分の量を多く含んでいる。この副流煙を吸ってしまうことを受動喫煙といい、受動喫煙者もがんなどにかかる危険性が高くなるのである。例えば、喫煙男性の妻の肺がん死亡率は、非喫煙男性の妻の約1・5倍であるとの報告がある。また、妊婦がたばこの煙を吸い込むことで、胎児の発育に悪影響を与えることも分かっている。具体的には、流産、早産、死産、低体重児などのリスクを高め、出生後も両親、特に母親の喫煙は幼児や児童の咳、たん、ぜん息などの呼吸器症状を増加させる原因となる。喫煙者だけでなく周囲の人間にも悪影響を及ぼすという点が、飲酒の問題と異なるところと言えるだろう。

来たる5月31日はWHOが定める「世界禁煙デー」である。日本では厚生労働省が1992年より、世界禁煙デーからの1週間を「禁煙週間」と定めて普及を啓発している。これを期に、たばこと自身の健康について今一度見つめ直してみてはいかがだろうか。

（和田恵理子）

1日の喫煙本数と12分間で走れる距離（m）



（出典：Cooper KH）

たばこの老舗 JTに聞く

これまで見てきたように、禁煙化への流れが加速している現在、人口全体の喫煙者数の割合は着実に減少している。そうした時代において、たばこを売る側は一体どのような立場をとっているのだろうか。JT（日本たばこ産業株式会社）IR広報部の松澤善史課長にお話を伺った。

商業的な側面からたばこを見た場合、必然的に1箱あたりの値段に占める税金の割合について考えざるを得ない。それに関して松澤さんはこう語る。「たばこ税の中には、例えばたばこ特別税というものが含まれています。これは、旧国鉄（現JR）が昔鉄道を整備した際に発生した債務の支払いに充てられており、現在たばこを吸う人は、その返済を肩代わりしているということになるのです。つまり、鉄道の通っていない地域に住む人であっても、たばこを買った場合には、利用していなかった鉄道に対して納税で貢献しているのです」。私たちが何気なく生活の中で使っているものも、たばこの税金によって賄われていることがある。たばこ税は国家財政の大切な支えのひとつなのだ。

だが、そのような点を考慮したとしても、非喫煙者にとってたばこの煙は迷惑なものである。また、実際にぜん息などを患っている人にとっては命にも関わりかねない問題だ。そのため、受動喫煙への対策として、JTは分煙化の推進にも積極的に携わっている。「私たちは、喫煙者と非喫煙者のお互いが納得し合えるような空間づくりを推奨しています。分煙を徹底することで、喫煙者の権利も非喫煙者の環境も同時に守っていくことが、今後は大事になっていくと思います」。あくまでも両者の共生という立場から、禁煙ではなく分煙という方向への見通しを立てているという。「JT社内には、分煙コンサルティングの部署を設けています。この部署では、例えばある団体が建物を建てる際に、その中でたばこを吸った場合の煙の流れなどを分析し、その結果に応じた分煙方法を具体的に提案しています。こうした活動を通じて、分煙化を推し進めているのです」。

喫煙のあり方を語る松澤さん

しかし、このような建物の分煙化以前の問題として、まず第一に考えられていくべきことは、喫煙者自体のマナーであると松澤さんは言う。「喫煙者には、たばこを吸う権利と共にマナーを守る義務があります。歩きたばこなどの喫煙者による迷惑行為が、人々の間にさらなる嫌煙の風潮を広げかねません。その結果として、吸う立場の人間の市民権が失われていってしまいます。だからこそ喫煙者は、きちんとマナーを守っていかなければならないのです」。喫煙者の振る舞い次第で、非喫煙者のたばこへの見方は変わっていってしまう。そのためJTは、配信する広告の中でも喫煙者に対してのマナー改善を呼びかけている。『ケータイ灰皿は、どんな場所でも吸っていい許可証じゃない。』というような、喫煙者には少々耳の痛いコピーによって、彼らに喫煙マナーについての自覚を強く促しているのだ。

そして、話の終わりに松澤さんはこう締めくくった。「たばこは人類の歴史ある文化とも言えます。非喫煙者も、マナーを守っている喫煙者に対しては、広い心で受け入れてあげて欲しいです」。嗜好品として、たばこを選んだ立場とそうではない立場。両者の快適な共生という展望を、私たちはこれから考えていってもいいのではないだろうか。

（阿部遥）

本学の喫煙事情

喫煙に対し、比較的寛容であると言われている本学。確かに、様々な場所で学生が喫煙している様子を見かけられる。では、学内には一体いくつの喫煙場所があるのだろうか。

その数は大学側も正確に把握しきれていないようだが、合計で少なくとも90以上の灰皿が設置されているとみられる。学内のあちらこちらに喫煙場所があり、至るところで喫煙が可能となっている。実質的には、キャンパス全域が喫煙場所と言っても過言ではない状態だ。そのせいか、分煙意識も薄れ、歩きたばこをしてしまっている学生も散見される。

また、各所に設置されている灰皿の中には、どこからか持ちこまれてそのまま使用されているものもあるようだ。黎明会館の中に灰皿を持ち込んで喫煙するというケースもあり、全面禁煙の建物の中でも喫煙が行われているのが実状である。

その一方で、西2号館の喫煙室など、決められた場所においてルールを守りながら喫煙をしている学生も多くいる。このような仕切られた狭い空間に喫煙者を閉じ込めてしまうということ自体には、賛否両論のあるところだろう。しかし、たばこの影響による様々なリスクを考えると、致し方ないという意見が強い。

今後の大学側の方針としても、昨年度の「学生の提言」で募集した「大学生と喫煙」の論文を受け、灰皿の設置数を減らすなど、分煙化を一層進めるという。誰もが納得できる喫煙環境を目指すには、一人ひとりがこの問題について高い関心を持つ必要があるだろう。

（今村隆介）

記者の眼

儚くも逞しい女の生き様

ここ数年、「大奥」が女性の間で絶大な支持を得ている。2003年にフジテレビ系で放送されたこのドラマは、翌年、翌々年にも「大奥～第一章～」、「大奥～華の乱～」とシリーズ化されていった。そして昨年、これらの集大成として「映画『大奥』」が上映された。これらに加え、テレビドラマ版・映画版共にサイドストーリーも放映されるほどの人気を誇る「大奥」。何故これ程にも女性、それもとりわけ若い世代の女性を魅了しているのだろうか。それは「大奥」というものが、数多くの女性たちを惹きつける要素を持ち合わせているからだ。

これらの物語で扱うテーマは、既存の時代劇に多く見受けられるような勧善懲悪ではなく、彼女たちが抱く感情そのものである。善悪が明瞭としていない故に、視聴者は様々な見解を得ることができる。また主人公たちも、武士などの権力を持つ強き者でなく、政治的策略などのために利用された力なき者たちなのだ。心ならずとも、側室となってしまったために他の女中たちから目の敵とされてしまう者。己の立場や家族などの守るべきもののために他者を陥れる者。このように誰しもが、己の運命に翻弄された被害者であり、その運命に抗い自身の擁護に走るばかり、時に加害者とさえなる。弱き者が「大奥」というしがらみの中で生き抜く覚悟を決めて戦っていく様を描いている点が、今まで時代劇に馴染みのなかった女性たちにも人気を博している理由であろう。

大奥と現代女性に共通する課題

「大奥」という階級社会の中で、己の美貌と知恵だけを武器に、立身出世を望む奥女中たち。そして、絢爛豪華な表向きの姿に隠された、驕慢と嫉妬。これらの感情が渦巻くのは、なにも「大奥」の世界に限ったことではなく、現代社会における女性間にも言えることである。女性も男性と肩を並べて働くようになった現代ならば、水面下での感情のぶつかり合いは、熾烈さを増さざるを得ないのかもしれない。

昔と比べ、男女平等の世の中になったといっても、女性が出世をしていくためには、まず女性の中の上層部に登りつめなくてはならない。そこで初めて男性と戦うことができるという制度が、悲しいかな、今なお暗黙の了解として存在している。このような時代に生きる女性だからこそ、陰謀や策略の交錯し、愛憎劇を繰り広げる「大奥」に親しみを感じるのだろう。

無論、現実の女性たちは、駆け引きや打算まみれの世界を生きているのではない。それでも時には、嘘や裏切り、権謀術数などが錯綜する、生き馬の目を抜く油断もすきもない過酷な局面に立つこともある。だからこそ、あらゆる感情のるつぼである「大奥」をひたむきに生きる女たちの姿は、現代女性の琴線に触れているのだ。

幾重にも絡み合う複雑な人間関係の中で、一筋の希望をよすがとし、健気に生き抜く「大奥」の女たち。現代を生きる女性たちもまた、彼女たちと同様に辛く厳しい社会で勝ち残っていかねばならないようだ。

（英米文学科3年　掛川千尋）

夢模様

Vol.7

経済学部経営学科3年

金井奈緒子さん

人々の未来に希望を

金井さんは将来、国際機関で働き、貧困に苦しむ発展途上国の人々を救いたいという。彼女がこのような夢を抱いたのは、経済産業省でのアルバイト経験がきっかけだ。「昨年から、技術協力課で職員の事務補助をこなしています。この職場で、途上国のために一生懸命働いている人々や支援機構の存在を知り、私も何か世界の人々に貢献できるのではないか、と思うようになったんです」。

そんな金井さんは現在、国際機関に就職するための条件を逆算し、今できることを進めている。「条件として、大学院の修士課程以上の学歴を求められるんです。だから今は進学を見据え、英語の勉強に励んでいます」。また最近では、自らの目で途上国の現状を確かめたいと思い、内閣府の青年国際交流事業に応募したのだという。

そのほか、彼女は国内の地方財政問題にも関心が高い。「春休みに地方を旅行した時、一日中シャッターの閉まった商店街を見てきました。それで私は、地方の経済状況にひどく不安を覚えたんです」。そういった過疎化に悩む町を活性化させることができたら、と考えているそうだ。

最後に、「どんな形であれ、社会的に弱い立場におかれている人々の力になっていきたいです」と熱意を語ってくれた金井さん。人を思いやる気持ちと強い意志を胸に、彼女は大きな夢を育んでいる。

（取材・構成　小室真衣子）

編集後記

非喫煙者が、たばこについて何も知らないまま禁煙を押しつけること。それは偏見から来る勝手な行為ではないのだろうか。こうした疑問から、今号ではこの特集を組んだ。

編集の際、偏見にとらわれず作業を進めることの難しさに悩まされた。非喫煙者の立場から喫煙者の立場を考えることは容易ではない。

記事中には喫煙者にとって好感を持てない内容も含まれていただろう。また、非喫煙者の側からは、肯定しがたい箇所もあったに違いない。しかしこれらを通じて、読者にはたばこを一概に善悪で括らず、自らの考えでその位置づけをして欲しいと思う。

（阿部遥）

企　画	阿部　遥
構　成 レイアウト	今村　隆介
取　材	小室真衣子 宮川　雅志 和田恵理子

社　告

本紙2面コラム「夢模様」で将来の夢を語ってみませんか？
毎回、希望者のうち１人に将来の夢を語ってもらいます。
希望者は、将来の夢とそれを目指すうえで
現在行っている活動を簡単にまとめて
press@gakushuin.ac.jp まで送ってください。

学習院大学新聞社　2面

御　礼

ご協力ありがとうございました

今回の編集作業において多くの皆様にご協力をいただきました。

皆様のご意見を参考に、紙面を構成させていただきました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

学習院大学新聞社
黎明会館316号室　3986-0221（内線2607）
http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~press

私の回顧録から ～page 5～

経済学部経済学科
福地 純一郎 教授

強い探求心 胸に秘め

今回は経済学科教授、福地純一郎教授に米国留学の思い出を語っていただきました。

決意の大学院留学

私は、一橋大学大学院で、大学時代から興味を持っていた統計学を勉強しました。ここでの教育システムは素晴らしいのですが、米国の統計学科で研究したいという思いから、米国アイオワ州立大学への留学を決意しました。友人が米国の大学院への留学を決めていたことも、私の意思決定に強い影響を与えたように思います。

繰り広げられる競争

米国の大学院に入学し、最初の半年間は全て自費で勉強しました。大学院では、優秀な学生にティーチングアシスタント（TA）の仕事が割りあてられ、給料が貰え、授業料も大変安くなります。しかし、その枠は限られているため、トップレベルの成績を修めなければなりません。そのため、私は毎朝7時に起きて授業に出席、その後夜12時まで図書館で勉強という毎日を送りました。結果的には仕事を得ることができ、オフィスも割り当てられて喜んだことを覚えています。しかし、いったんTAになってからも、成績が悪ければ次の学期には首になります。留学中、何回か旅に出かけましたが、途中、帰ったらオフィスが誰かに奪われていたという夢を見て、うなされることが何回もありました。それは、米国での生活を振り返る福地教授

米国での4年半

留学はつらいことがありましたが、同じ目的を共有する友人に恵まれ、楽しい学生生活でした。日本とは異なる文化や社会が存在することを知ることができたのも貴重な体験でした。ただ、米国で勉強、研究をした4年を振り返ると、米国滞在中にもっと毎日以外の広い教養を身に付ければ良かったなども思います。しかし、あれが当時の私の限界だったのかもしれません。

（取材・構成　増井亮太）

PROFILE
1987年学習院大学経済学部卒業。一橋大学大学院経済学科研究科修士課程修了。95年より広島大学の講師、助教授を経て00年より現職。

読書

水上のパッサカリア

愛した女が残した謎

先日、第10回日本ミステリー文学大賞受賞作が書籍化され、ベストセラーとなった海月岩（ふなつきいわお）氏の『水上のパッサカリア』（新潮社刊）。舞台となるのは、東京から5時間ほど離れたQ島の田舎町。己に関する全ての過去を封印し、自動車整備士として暮らす男、大道寺勉が本作の主人公。彼は、5ヶ月前に突然の奈津子の不慮の事故死を目撃していた。その仲間が大道寺を訪ねてくる。彼らは、奈津子の死を決定的なものとするべく、大道寺を組織に引き込もうと画策していた。そして、絡まれつつ、謎の女性、奈津子の死の真相を探ろうとする。

――大道寺の隠された経歴、悲惨な過去、奈津子の死の真相……。本書は、ハードボイルドとしてだけでなく、ミステリーや恋愛小説としても楽しめる。このような奥行きのある作品を生み出せたのは、筆者の緻密な構成力と、丁寧な人物造形のためだろう。その中でも特に秀逸なのが、大道寺と、生前の奈津子との幸せな満ちた日常生活の描写だ。また、奈津子の過去の謎が明らかになる前、雰囲気の良い喫茶店で語られていたが、そこに彼の感情の起伏はあまり読み取れない。風に揺れる水面のように掴みどころのない大道寺の語り口調が、それに一役買っているのかもしれない。

そして、絡まれつつ、謎の女性、奈津子の死の真相を探ろうとする。

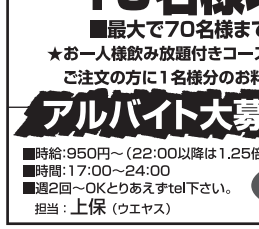
（岩井亮太）

（税込1470円　2007円）

涙の全顔撮影体験

日々の生活の中で蓄積されていく、紫外線による肌のダメージ。一度は肌の状態を調べてみたいものだが、男の私が一人で行くのはちょっと恥ずかしい。そこで、女性の先輩について来てもらい、肌画像解析装置を使って、その中でも特に秀逸なの宝だ。まず、奈津子に、どこの同然だった。まず、奈津子に、どこの同然だった。まず、奈津子に、どこの同然だった。まず、奈津子に、どこの同然だった。

私たちが行った病院は、広尾駅から徒歩30分に位置する「広尾皮フ科クリニック」。受付を済ませ、ホールに取り残されてしまった先輩を待つこと数分。段々と長くなるにつれ、不安な気持ちも強くなってきた。まず、撮影を担当した看護師さんに、撮影装置の説明をしていただいた。これで、顔面を正面、側面から撮影し、しわやシミ、肌の明るさや毛穴数を測定する。



部屋に入ると、今回の主役である撮影装置が目に入った。これで、顔面を正面、側面から撮影し、しわやシミ、肌の明るさや毛穴数を測定する。

日焼け対策グッズの数々

のである。あごを装置に乗せて撮影の撮影だけは回目を成功せず、3回目に突入。まるで、この後に告げられる結果の悲惨さを暗示しているかのようだった。

子供外の出来事があったものの、先輩と私は先ずから撮影結果の説明を受ける。先に説明を受けた先輩の結果は、肌の年齢は実年齢より若い数値、さすがは先輩、と思ったのが束の間、先生曰くメイクを落とすと測定したため、結果は正確な数値ではないらしい。来院の際、女性の方はメイクを落とすことを念頭に置いておくべきだ、と注意を受けました。

ソーセンにシミができている人にあるわけ。この部分には、皮脂が多くて存在するので、自然な保湿が求められているのです。なお、皮膚の薄い箇所は日光に弱いので、日焼け止めを塗ってください。

毎日きちんと日焼け止めを塗ってください。吹く、冷え、皮膚が人感覚は増えています。男性も注意が必要です。日焼け止めは、中には化粧品を通過するものもあるので、たとえ外出をしない日でもUVカットを忘れないようにしましょう。この他の対策としては、保湿剤が効果的だ。肌の保湿を意識することが、紫外線を見べひらすに、そして、紫外線に対する抵抗力が高まります。その証拠に、T

紫外線の基礎知識

日差しに照ら、私たちのるみついて皮膚の老化を待っている人は、案外少ないのではないなかろうか。肌を守るための対策を考える前段階として、紫外線の正体を知っておこう。

一般的にUVと呼ばれる紫外線は、太陽光の光成分として地表に降り注ぐ。この紫外線光の波長によって、UV-A・B・Cの三つに分類されている。そのうち、オゾン層で吸収されることなく、地表まで届くのが、UV-AとUV-Bだ。

まずは、UV-Aについてみてみよう。UV-Aは、皮膚の奥深くにまで到達し、肌の弾力を保つコラーゲンなどの成分を破壊してしまうのだ。つまり、UV-Bとは、皮膚の表皮にダメージを与え、シミをはがすの原因となるメラニンの生成を活性化させるという点、さらに、皮膚細胞の遺伝子を破壊し、皮膚がん引き起こすこともあるという、紫外線によって発病する皮膚がんの中で、最もやっかいなケースが基底細胞がんだ。このがんは、一見すると小石のようだが、年をとるにつれて肥大していく、他の部位への転移はとんどないが、早期治療が望ましいだろう。

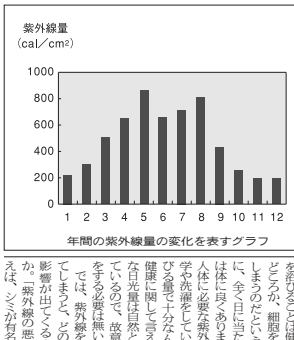
さて、紫外線を浴びることによる被害で、忘れてはいけないものがある。それは、日焼けだ。日焼けには、大きく分けて二つの種類があるのだ。まず、強い日差しに当たった後、皮膚が赤くなり、ヒリヒリと痛む状態。この日焼けは、UV-Bによるもので、「サンバーン」と呼ばれる。サンバーンは、症状が悪化すると、皮がはがれたり、水泡が出てきたりする。

そして、サンバーンの発症から数日経つと、皮膚が剥がれ、肌が褐色になり始める。この「サンタン」と呼ばれる症状は、UV-Aによって引き起こされる。サンタンの役割は、UV-Bの役割とは異なり、皮膚の内側にある遺伝子を傷つけてしまうのを防ぐこと、もちろん、サンタンも繰り返せば肌に大きなダメージを与えるため、サンバーンとともに、できるだけ避けるべきだ。

ところで、紫外線の影響があるのは、太陽がささんと照る夏だけだと思っている人はいないだろうか。実は、紫外線は夏に限らず、一年中放出されている。ちなみに、最も紫外線量が多い時間帯は、午前11時～午後2時である。その時間帯に外出する際は、特に注意しよう。

紫外線の悪影響から逃れるためには、十分な対策が必要になる。しかし、それ以上に大切なのは、紫外線に負けない体づくりだろう。生活習慣を整え、免疫力を保つことで、紫外線対策の効果は格段に上がるはずだ。確かな知識を持ち、日々の努力を積み重ねることで、紫外線の悪影響から、素肌美人の最短ルートなのである。

（賀来潤思）



年間の紫外線量の変化を表すグラフ

紫外線の人体への害

この数年の美白ブームにのせられ、紫外線による肌への影響に注目が集まっている。しかし、目に見えない肌の持つバリア機能を低下させてしまうのです。さらに、強い日差しを浴び続けると、DNAなどの遺伝子は破壊されてしまう。だが、細胞は日々修復されるところ。そこで今回は、紫外線が及ぼす影響について基礎から学ぶべく、「私の研究室」にお話を伺った。

今でこそ、紫外線は肌に良くないものというイメージだが、一昔前は光浴びれば、健康的な肌の象徴であったが、日焼けし肌への認識は、健康的な象徴であったが、日焼けは健康になるどころか、細胞を傷つけてしまうのだという。「確かに、今で日当たりのいい場所は、晴れの日でもあまりない。曇りの日でも紫外線は多少の洗濯をしている際に浴び過ぎないように、紫外線は皮膚がんやシミを引き起こす原因となりうる。それらの症状を招かないためには、紫外線対策が重要になるのだ。

紫外線対策の中で最も多く使われているのが日焼け止めだ。その種類は主に用・大人ボディ用・大人フェイス用などがあり、用途や肌質に応じて使い分けることが大切だ。選ぶ目安としては、SPFとPAは、高い方が効果的だといえる。PAはUV-Aを防ぎ、SPFはUV-Bを予防する効能を持つ。

日焼止めを塗る際に大切なのは、レジャー用と日常用なのは、レジャー用と日常用の使い分け、適量をムラなく塗ることである。特に日光を浴びやすい鼻筋や頬、首筋や肩などに塗るのがよちろん、照り返しのあるところには、重ねて塗ると良い。さらに、耳や手の甲にも忘れてはいけない注意ポイントだ。外にも、唇も日焼けをする。紫外線の吸収量が多くなるので、薄い色の方が適している。特に、夏の快晴時は、レー系の色が、ウインターシーズン時にはブラウン系の色が好ましいとされている。

強いので、ドライヤーやアウトドアだけでなく、街中でもかけるべきなのだ。また、レンズの色合いも、ポイントだ。レンズの色合いは、スポーツ時にはブラウン系の色が好ましいとされている。

レンズの大きさは地面からの反射を防ぐために大きめのものがおすすめだ。

その他の紫外線対策としては、日傘も忘れてはならない。日傘選びのポイントは、なるべく黒に近い色のものを選ぶこと、色の黒いものの方が、より紫外線の遮断効果があるからだ。また、日傘を持つ時は、柄を短く持って肌からあまり離さないようにする工夫も良いだろう。

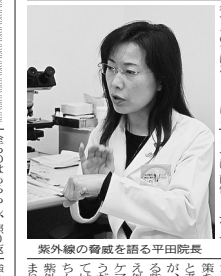
今までは、このような対策をどうすべきかが分からず、対策を怠っていた人も多いかもしれない。しかし、今からでも遅くはない。紫外線の影響を知った今、強い日差しに負けないように、今回紹介した対策法を試してみてはいかがだろう。

（勝浦輝美）

策も可能だ。日焼けに良く効く食べ物としては、ビタミンC・β-カロテンを含むフルーツ・ほうれん草などが挙げられる。他には、ビタミンB2・亜鉛などもおすすめだ。夏バテ防止もなるとバーやっぱきなども効果的であるのである。

日焼け対策はお済みですか？

傷をしている状態なんで、どうしてもシワやたるみが増えている。「まは、紫外線は皮膚へ移行するのではく、目と」



紫外線の脅威を語る平田院長

とまれば、眼球内にある網膜が、ダメージを受けてしまうのです。そのような状況が続くと肌の対策をしておけば大丈夫という印象が強いが、実際には、目の対策も忘れてはならないのだ。

このような紫外線の悪影響から身を守るためには、どうすればいいのだろうか。

「まずは、面倒くさがらず、対策をしなくても平気だろうと考えている人もいる。だが、中には化粧をする際、ついつい、紫外線を見べひらすに、そして、保湿剤を塗っていった方が懸命と言えるだろう。

（掛川千尋）

涙の全顔撮影体験

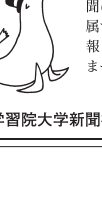
取材構成
伊藤　桃子
賀来　潤思
掛川　千尋
勝浦　輝美
増井　亮太

社告

CAMPUS GUIDE

募集のお知らせ

キャンパスガイドでは、学内外で行われる部活動およびサークルのイベントを紹介しています。



多くの学生が目を通す大学新聞にあなたが所属する団体の情報を掲載してみませんか？

CAMPUS GUIDE

●音楽部
「管弦楽団　第46回定期演奏会」
日時：5月20日（日）
場所：ティアラこうとう大ホール
料金：1000円
内容：ベートーベン作曲
序曲「コリオラン」
クリーグ作曲
「ペーギュント」組曲より
チャイコフスキー作曲
「交響曲第5番」
最近、注目のオーケストラ。是非聴きにいらしてください！

●能楽研究会
「宝春会」
日時：6月3日（日）
場所：神楽坂　矢来能楽堂
料金：無料
内容：能楽研究会のメンバーは、宝春会に向けて日々練習を重ねてきました。特に、能を観たことがない方は、是非ご覧ください。

●軽音楽部
「新人生発表会」
日時：6月3日（日）
場所：草十見会館ホール
料金：無料
内容：新人生にとって大部後初めてのライブです。詳細は軽音楽部まで。

●シェイクスピア・ドラマ・ソサエティ
「第33回公演
『アクメスの妻と呼ばれた女』」
日時：5月25日（金）18時～
26日（土）14時～
27日（日）14時～
18時～
料金：前売1000円
当日1200円
内容：アクメスの城で働く女中たちは、国王殺害事件の謎を推理し始める。一人の女中が真実を暴いた、その先に待つものとは……！

●ボクシング部
「ボクシング部　第46回定期演奏会」
日時：5月20日（日）
場所：ティアラこうとう大ホール
料金：1000円
内容：ベートーベン作曲
序曲「コリオラン」
クリーグ作曲
「ペーギュント」組曲より
チャイコフスキー作曲
「交響曲第5番」
最近、注目のオーケストラ。是非聴きにいらしてください！

●能楽研究会
「宝春会」
日時：6月3日（日）
場所：神楽坂　矢来能楽堂
料金：無料
内容：能楽研究会のメンバーは、宝春会に向けて日々練習を重ねてきました。特に、能を観たことがない方は、是非ご覧ください。

●軽音楽部
「新人生発表会」
日時：6月3日（日）
場所：草十見会館ホール
料金：無料
内容：新人生にとって大部後初めてのライブです。詳細は軽音楽部まで。

開幕戦、白星スタート
ハンドボール部
連勝記録を10に伸ばす


素早いパス回しで流れを作り、勝利をその手に掴んだ本学

4月15日、立教大学新座キャンパス体育館にて関東学生ハンドボール春季リーグ戦が開幕した。昨季に4部昇格を果たした本学の対戦相手は、今まで未勝利の東京理科大。本学は序盤から試合を優位に進め、強豪校に快勝した。この勝利で昨年の秋季リーグ戦から数えて10連勝を成し遂げた。

試合前、小菅啓介主将（済4）は、「前回のリーグ戦では4部に上がることができましたが、まだまだ満足はしていません。初戦は絶対に落とせないので、やってきたことを全て出していきたいです」と話してくれた。今後を占う大事な一戦を前に、小菅主将は強気な姿勢を崩さなかった。

試合開始と共に、本学は流れを引き寄せる。正確なパス回しで相手を翻弄し、シュートチャンスを次々とものにしていく。開始5分と立たないうちに5点のリードを奪った本学は、試合の主導権を握ることに成功した。

このまま早々と勝負を決めてしまいたい本学。だが、相手も落ち着きを取り戻し、徐々に追い上げられる。ペースを掴まれたかにも思われたが、この嫌な流れを即座に止めたのが中川浩亮選手（済2）であった。中川選手は相手のファウルにより得たペナルティスローを冷静に決め、再び点差を広げた。

前半も半ば頃から次の展開が読めない時間帯が続いた。本学は連続して得点を決め、勢いに乗ったかと思うと、一瞬の隙を突かれゴールを奪われる。結局、18—14と開始直後のリードを守る形で前半は終了した。

何とかして相手を突き放したい本学は、後半が始まると積極的な攻勢に出る。再開後すぐに速攻から稲山雅郁選手（法2）がゴールを決め、チームを勢いづける。その後も着実に得点を重ね、最大8点まで点差を広げた。この猛攻の中枢を担っていたのが小菅主将である。通算5回の得点王に輝いた抜群の経歴を誇る小菅主将に、相手ディフェンスは当然マークを集めてくる。そこでフリーになった選手にパスを回してチャンスを演出し、攻撃の基点となったのだ。

守備の局面でも盛山由浩選手（数2）を中心としたディフェンスで、相手の追い上げを許さない。ここぞという場面での集中力も冴え渡り、ペナルティスローのピンチもゴールキーパーの藤嶋弘晃選手（政2）が2度乗り切る。終盤にミスから失点するシーンがあったものの、最終的に34—28で初戦を制した。終始リードし続ける会心の試合運びであった。

小菅主将は「落ち着いてプレーすることができました。個人のレベルが上がったとともに、チームのレベルもひとつ上がったと思います」とこの試合を振り返る。しかし、「内容的には10点差以上つけられた試合でした。途中、気が抜けてしまったところもあり、無駄な失点が多かったです」と反省点もあったようだ。

重要な開幕戦を見事に勝利で飾った本学。結果を残すと同時に内容も伴った試合に、確かな自信を手に入れたはずだ。3部昇格という目標に、また一歩近づいた。（平野健）

激戦の末の惜敗
硬式野球部


チームを背負い、9回途中まで力投した滝口投手

4月14日、本学野球場にて東都大学春季リーグが開幕した。4部に所属する本学の相手は東京工業大。初戦を勝利し、幸先の良いスタートを切りたいところだ。試合前、佐藤勇太主将（営4）は「リーグ戦は全勝します」と闘志に満ちあふれていた。

本学先攻で始まったこの試合。ゲームは早くも1回裏に動いた。相手の先頭打者にセンター前へ運ばれると、3番打者には左中間を抜ける長打を許してしまう。その間に1塁ランナーが帰り、0—1。初回から相手を追う状況に立たされる。また、5回裏にもソロホームランを浴び、0—2と点差を離されてしまった。

ここまでは一方的に東工大ペースで試合が進んできたが、6回表、本学打線はついに軌道に乗り、巻き返しを見せる。レフト前ヒットと送りバントでランナーを1、3塁とし、チャンスを作る。すると、細井悠輔選手（済2）が左中間にタイムリーヒットを放ち、待望の1点をもぎ取った。また、滝口和眞投手（政4）も次第に投球が安定し始め、6、7回は相手打線を完全に封じ込めた。

滝口投手の奮闘に打線も援護したいところ。8回表、先頭打者の古河朋也選手（営2）がレフト前ヒットで出塁すると、送りバントと死球で1アウト1、2塁とする。続く長谷川祐紀選手（済2）が、レフト前に弾き返し、満塁のチャンスが訪れた。

何としても1点が欲しい本学。ここで打順が回ってきた外村嘉崇選手（営2）に勝敗が託された。外村選手は相手ピッチャーが投げた甘い球を渾身のひと振りでレフト頭上へ持っていく。ボールがグラブに納まると同時に、3塁ランナーがタッチアップ。見事本塁に生還し、ついに同点に追いついた。相手がもたついている間に、2塁ランナーがすかさず3塁を蹴ってホームへ走ったが、タッチアウトで逆転には至らず、8回表を終えた。

その後は互いに譲らず、両者ともに追加点を奪うことができない。2—2のまま延長戦に突入し、迎えた11回裏。9回途中から登板した三宅崇之投手（営4）は、相手にヒットと2つの四球を与えてしまい、1アウト満塁とされてしまう。ここを乗り切って12回の攻撃につなげたい本学だったが、痛恨のサヨナラヒットを許し、2—3でゲームセット。開幕戦を白星で飾ることはできなかった。

試合後、「ここ一番で打線がつながりませんでした」と厳しい表情を見せた佐藤主将。目標の4部優勝、3部昇格に向け、残す試合に全力を尽くしてもらいたい。（佐藤貴裕）

メンタル面で課題
バレーボール部女子


トスを上げ反撃に転じる本学

東京家政大学板橋キャンパス体育館にて4月15日、春季6部リーグ戦が行われた。今大会では、入学から競技を始めた初心者が努力の末にレギュラー入りを果たした。それに触発され、充実した雰囲気で練習できたという本学。小武海享子主将（政4・こぶかい）を始め、5部リーグ昇格を狙うチームは高い士気で大会に臨んだ。

まず、獨協大との第1試合。一気に得点し勝負を決めたい本学だが、立ち上がりに失敗。終始相手のペースで試合が展開し、1セット目を15—25で落とす。しかし、2セット目からチーム本来の持ち味が発揮された。本学は日頃からあらゆる状況下でも声を掛け合い、精神面で優位に立つことを意識してきた。その実践が功を奏し、心機一転した本学は絶妙の連携で次々に得点する。ライン際に球が飛び込み、相手は動くこともできない。こうして徐々に場の空気を支配し、ついに気圧された獨協大からこのセットを奪う。

3セット目、この良い緊張感を持続させたかった本学だが、痛い失点が続く。サーブをうまくさばけず、序盤で点差を広げられてしまった。終盤、本学は相手の攻撃を巧みなレシーブでかわして形勢逆転を図る。必死に猛追し、あと一歩まで迫ったが、わずかに及ばず惜敗した。

第2試合目は川村学園女子大との対戦。勝利を収め、余裕を持って優勝争いに臨みたいところだ。後攻の本学は、永井佑布子選手（営2）が相手のスパイクを鋭く打ち返し先制する。このプレーでチームが盛り上がった。相手も反撃するが、本学は堅牢な守備で応戦し、さらに勝利の機運を高めていく。だが、チームはまたも苦境に立たされる。単純なトスの失敗から立ち直れず続けざまに失点。結局1セットも取れず、リーグ初日でまさかの2連敗を喫してしまった。

小武海主将は「戦った両校は本学と同レベルの実力です。しかし、気持ちの切り替えに失敗したことが明暗を分けました」と語り、粘り強い試合ができなかったことを悔いた。今回の反省を活かし、残すリーグ戦で雪辱を果たせるよう期待したい。（澁谷毅士）

悔い残る一戦
馬術部


鈴木選手・翔桜の迫力ある飛越

4月14日、第24回東京馬術選手権大会が行われた。会場の馬事公苑は御所桜が満開となり、人馬の快走に幻想的な彩りを添えていた。

今回本学が出場したのは、障碍飛越競技110センチクラス。これは、コース内の各障碍を人馬がいかに正確に、かつ俊敏に越えるかを試すものである。その走行タイムや障碍の落下に伴う減点を加味し、人馬の順位が決められる。

本学の先陣を務めたのは、高山良太主将（法4）・桐桜組だ。前の2組が立て続けに失権しているため、馬場には重圧が漂っていたが、高山主将は焦りを見せず、終始落ち着いた手綱捌きを披露。だが、慎重になり過ぎたのか規定タイムから6・98秒遅れでゴール。減点を2点に抑えたものの13位に終わった。

次は、佐藤もも選手（学習院女子大・日本文化3）・皇桜組が臨む。序盤を高めの飛躍で駆け抜けるが、4つ目の障碍で互いのリズムが合わず拒止してしまう。持ち直しを図ったものの、続く障碍までに馬の状態を修正できない。二度の拒止により失権となった。

本学最後を飾ったのは、鈴木広和選手（政2）・翔桜組。序盤は堅実に障碍をこなし、徐々に馬との調子をつかんでいく。駿足を活かし、伸びやかな飛躍を見せた。最後の連続ジャンプを華麗に決めて減点0、タイム76・08と堂々の8位入賞を果たした。

本学は6月に開催される関東学生大会で、さらに20センチ上の飛越に挑む。今回の結果に、「来たる大会を考えると、今回は喜べる結果ではないです」と語った高山主将。この大会から学んだ経験を糧に、次回こそ悔いの残らぬ馬術を見せてほしい。（石崎知世子）

FLASH BACK
陸上競技部
川内 優輝さん（政3）
執念で掴んだ初出場の栄光

去る1月3日、第83回東京箱根間往復大学駅伝競走において、関東学連選抜のメンバーに選出された川内さんは、復路6区を走破した。箱根駅伝に本学学生が出場したのは、本学創立以来初の快挙である。高校では怪我に泣いた川内さんだが、本学に入学後、不屈の闘志で今回の挑戦を掴んだ。

昨年10月に行われた予選会に、本学陸上競技部は怪我人まで総動員して出場。選手の余裕が全くないまま戦うこととなる。残念ながらチーム全体の成績は振るわず、箱根初出場への希望は絶たれかけたかに思われた。しかし、川内さんが個人で500人中37位という記録を残した。それが評価され、関東学連選抜の一員として本大会への出場が決定したのである。川内さんは、「歴史ある大学の代表として重圧をかなり感じました。でも、憧れの駅伝に出ることができて嬉しいという気持ちも当然ありましたよ」と選抜入りを果たした際の心境を語った。

その後、川内さんは自分の希望する6区を意識し、ひたすら練習を積んだ。下り坂なら強豪校とも渡り合えるという自信があったからだ。そして、その念願は見事に叶い、遂に6区を任された。

こうして大会当日、長距離走者の晴れ舞台に立った川内さん。学連選抜のたすきを託されると、20・8キロの道のりを全力疾走。1時間0分24秒と、好記録で堂々と坂道を駆け抜けた。競技中の様子について川内さんは、「大会自体はそれほど緊張しませんでした。いつもと同じように走るだけですから。ただ、今回は応援が凄かったですね。本学出身の方々や、路上の一般の人たちからの声援がとてもありがたかったです」と感慨深げに語る。温かい人々の心が、川内さんの力となったのだ。さらにレースを振り返り、「走っている最中は、とにかく太ももが痛みました。何とか走りきれて一安心したというのが正直な感想ですね」とも話してくれた。

このように、強敵ひしめく激戦を戦い抜いた川内さん。「今後の個人での目標は、まず5月の関東インカレで3位以内、6月の日本インカレでは自己記録を更新し、次の箱根に繋げることです」と新たな高みを目指し、明確な目標を掲げて日々邁進する。燃える思いを胸に、川内さんは今日も走り続けているのだ。（澁谷毅士）

TOPICS

その他の試合結果

【陸上競技部】▼第83回東京箱根間往復大学駅伝競走▽川内優輝選手（関東学連選抜）6区　1時間0分24秒　区間6位

【ラグビー部】▼関東大学対抗戦Bグループ▽6勝1敗　2位

【フットサル愛好会】▼東京都大学リーグ▽対東京外国語大1—2　リーグ7位

【航空部】▼全日本学生グライダー競技選手権大会▽真田篤史選手　26位

【弓道部男子】▼新人戦▽対成蹊大　勝ち　第3回戦進出

【弓道部女子】▼新人戦▽対東京大　負け　第1回戦敗退

デスクの片隅

デジタル三種の神器のひとつとして、世間に定着したデジタルカメラ。大学新聞社に2台しかないこのカメラを、部員はまるで宝器のように取材へ持っていく。輪郭がくっきりとした写真は、特にカラー印刷の紙面で人目を引くようだ▼私達がデジカメを好む理由はまだある。取材の際、事前にシャッター音を消しておけば、不意の一音で場の空気を乱すことがない。また、必要なデータのみを現像するので、写真代を大幅に削減できる▼ところが先日、紙面を眺めていた私は、この万能なカメラで撮った写真に愚痴をこぼしてしまった。現物は、こんなにも鮮明に自分の視界に入っただろうか。ぬくもりのあるはずだった1コマが、写真に全く表れていない。その作り込まれた明るさに、現場を忠実に伝えられないもどかしさを覚えた▼散々文句は言ったが、使い勝手が良く、写真の濃淡が映えるデジカメを根底から否定する気はない。今回の取材にもこの次世代カメラにお供を頼んだ。やはり便利さを追求するのは仕方ないのか。（飛）